

# 日刊メタルレポート

発行所  
 株式会社 日刊金属新聞社  
 本社 大阪市城東区蒲生1-3-7  
 社電 電話(06)6932-5443代表  
 北陸支社 富山市曙町1-30-508号内  
 支電 電話(076)444-6836  
 購読料 半力年44,100円(前納) 3カ月22,050円

住友金属鉱山電気亜鉛  
 蒸溜亜鉛・原料指定問屋  
 亜鉛下ロス・滓買入  
**大阪亜鉛工業株式会社**  
 取締役社長 林 昭 宏  
 〒555-1 大阪市西淀川区佃四丁目一四番三号  
 〇〇一 電話(〇六)六四七一・二五三一代表  
 〒111-1 東京都墨田区立花二丁目四番五号  
 〇〇二 電話(〇三)三六一八・三三五一・二番

新幹線を支える  
**イク子**の銅合金インゴット  
 高品質を追求する**イク子**の銅合金地金は  
 鉄道架線金具に使用され、新幹線やJR  
 各線の安全運転のお役に立っています  
**株式会社 イク子**  
 〒554-0052 大阪市此花区常吉2-3-53  
 06-6460-2246代表  
 FAX 6460-2355  
 青銅・リン青銅  
 アルミ青銅  
 美術青銅  
 鉛など各種  
 N700系  
 のぞみ  
 (時速300km)



## 欧州アルミ調達コストが上昇 プレミアムが需給とかい離

欧州でアルミニウム供給を確保するコストが、記録的高値水準に上昇している。金融取引とつながった投資対象となることが多いため、需要家のメーカーや中小取引業者は在庫確保に奔走している。

指標であるロンドン金属取引所(LME)の現物価格に上乘せされるプレミアムは、域内の需給傾向を反映するものとされる。しかし金融機関や商社が二〇〇八年の世界金融危機を受けてアルミへの選好を強めて以来、プレミアムと需給との乖離(かいり)が進んでいる。

複数のトレーダー関係者によると、ロッテルダムのスポット市場のトン当たりプレミアムは二四〇〜二六〇ドルとLMEの相場を一〇%超上回り、ロイター通信の独自データによれば過去最高値水準にある。

LMEの規則で、指定倉庫からの一日当たりの出庫量は制限されており、これは通常の入庫量より大幅に少ない。しかし、金融機関や商品(コモディティ)商社が所有している倉庫では、出庫量が入庫量を下回ることがめつたになく、恒常的に在庫引き出しの滞りが出ている。

倉庫側は滞りの原因を物流面の要因だと釈明しているものの、在庫引き出しを待っている期間中の倉庫料収入を増やす戦術だと批判する向きもある。

金融機関による倉庫保有は金属在庫価格の押し上げ要因だとして、最近厳しく精査されている。米規制当局は現在、倉庫や油槽所といった商品現物関連資産の保持をめくり、米大手金融機関と水面下で協議中。ただ欧州の規制当局は、現時点でこれに追隨していない。

## 輸出はアルミ新地金が大幅増

## 輸入は二次合金二〇・三%増

橋本金属 橋本健一郎氏リポート②  
 アルミ

【概況】六月前半は予想外の中国人民銀行による政策金利の〇・二五%引き下げなど欧州債務問題への対応策があったものの、ユーロ圏CPIが二・四%増だったことや米ADP雇用レポートも予測以下だった事、また第一四半期の米GDPが一・九%増と下方修正されたことを嫌気しLMEアルミ相場が下落、一、九二二ドルと約三八ドル下落での前半締めとなった。

後半はギリシャ選挙で再建派が勝利したものの、中国HSBCのPMI指数が八カ月連続五〇以下だったことや、期待のFOMC声明で金融緩和について否定的なコメントを発したこと、さらにスペイン金融機関の債権比率悪化に伴いスペイン債の利回りが七%を超えたため、九〇ドル急落する流れであったが、欧州会合で欧州安定メカニズム(ESM)から枠内の銀行へ直接資本注入できる仕組みに合意したとの報を好感し下げ限定的となった。

七月二日現在、LMEアルミ(現物後場)は一、八六八ドルと三二ドル下落のスタートとなった。(二面へ続く)

【二面より続く】

【前月の経済指標】

◆日本自動車工業会によると自動車生産台数は前月比二・三％減の七八万一千三百四十台であった。

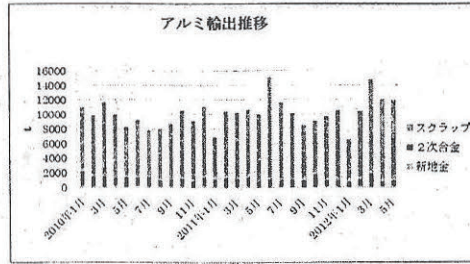
◆日本自動車販売協会連合会によると、自動車販売台数(軽除く)は前月比三四・二％増の三十一万七千五百二十台(前年比四〇・九％増)。

◆新設住宅着工戸数  
国土交通省によると、新設住宅着工戸数は前月比(季節調整済み)〇・八％増(昨年比九・三％増)の六万九千六百三十八戸であった。

◆貿易関連指標

財務省貿易統計によれば、輸出はアルミ新地金が前月比七三・八％増の一四六六ト、二次合金が九％増の七一九ト、スクラップが二・六％減の一四一・〇六七ト。

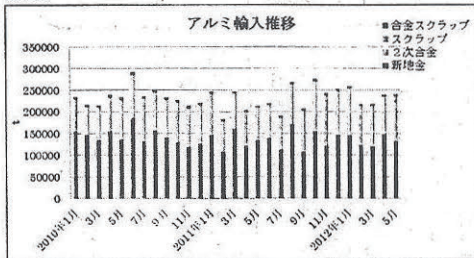
	3月	4月	5月
輸出			
新地金	194 t	84 t	146 t
前月比	+30.2%	-56.7%	+73.8%
二次合金	1659 t	657 t	716 t
前月比	+89%	-60.4%	+9%
スクラップ	12859 t	11361 t	11067 t
前月比	+37.4%	-11.6%	-2.6%



出典 財務省貿易統計

輸入は新地金が前月比一〇・九％減の一三万一千八百九七ト、二次合金が二〇・三％増の一〇万五千五百六七ト、スクラップが四・五％増の七二一・七ト、合金スクラップは二％減の三、六七八ト。

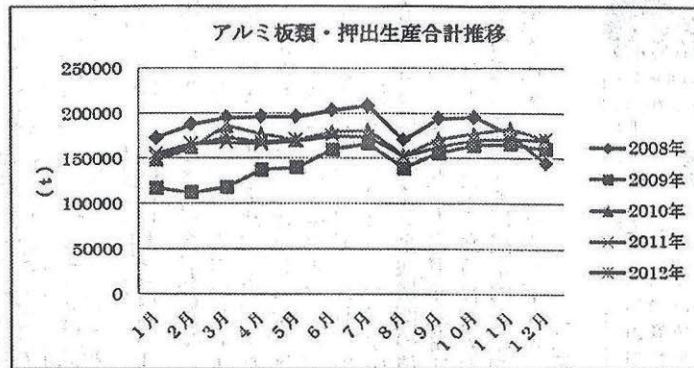
輸入	3月	4月	5月
新地金	11万9872 t	14万7956 t	13万1889 t
前月比	-3.3%	+23.4%	-10.9%
二次合金	9万3728 t	8万7379 t	10万6166 t
前月比	+4.6%	-6.8%	+20.3%
スクラップ	1288 t	681 t	711 t
前月比	+41.2%	-47.1%	+4.5%
合金スクラップ	3522 t	3753 t	3678 t
前月比	+23.9%	-1.8%	-2%



出典 財務省貿易統計

【前月の国内指標】

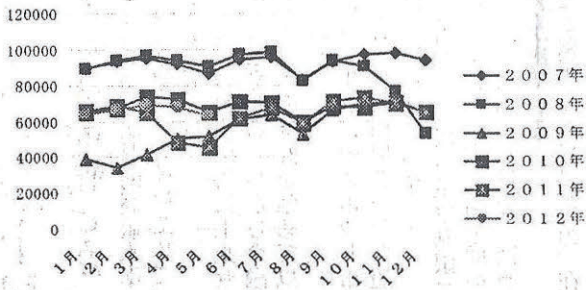
日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば、板類・押出生産合計は前月比一・二％増の一七万〇千五百五十四ト(昨年対比〇・九％増)。



出典 日本アルミニウム協会

日本アルミニウム合金協会発表のアルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績は、前月比六・九％減の六万三千〇三二トであった(昨年対比三九％増)。(六面に続く)

アルミ2次合金等生産実績



出典 日本アルミニウム合金協会

# アルミスクラップ相場は軟調か

## 二次合金生産、伸び悩みの様相

【二面より続く】  
【見通し】

自動車関連は堅調、さらに住宅が底入れ、軽圧品も堅調の月となった。  
また欧州懸念も先日のEU会合で欧州金融安定メカニズム(ESM)から民間への直接投資が合意され、一旦は安定した。  
自動車生産は前年比で五九・五%増の七八万一、三四〇台と一〇カ月連続上昇。新年度後も堅調に推移。

また国内自動車販売台数も三二万七、一五二台で前年比四〇・九%増と急上昇。

前月に続き自動車関連のアルミ二次合金生産も昨年対比三九%増と三カ月連続上昇、今後も増産予定。

その他、住宅・家電需要が見込める圧延、押出品生産数は前月比一・二%増の一七万〇、五五四t。昨年対比〇・九%増と自動車・住宅に支えられ小幅増加。

新設住宅着工数は季節調整前月比〇・八%増の六万九、六三八戸、前年比は九・三%増と大幅回復。

輸入塊は上海シグマなどのハイグレード物で六月末現在、最高値二、二〇〇ドル(マイナス一〇〇)、ロシア塊は一、九〇〇ドル(マイナス八〇)。港値にすれば、一八五円、一六〇円と一八五円前後の国内ものと同等か安め。

輸入は新地金が前月比一〇・九%減の一三万一、八八九t、自動車関連の二次合金は二〇・三%増の一〇万五、一五六t、スクラップは四・五%増の七一一t、合金スクラップは二%減の三、六七八t。

輸出は新地金が前月比七三・八%増の一四六t。二次合金が九%増の七一六t、スクラップが二・六%減の一萬一、〇六七t。

アルミ原料需給に関して震災の復興需要が進み、新設住宅着工数は三カ月連続増加の九・三%増(前年比)と回復の兆し。先月も最大の需要家である自動車メーカーの自動車生産・販売共、六〇%増、四一%増と好調維持。しかし二次合金生産は六・九%減(前月比)と伸び悩み、格安の輸入塊の増加が考えられ今後はこちらも生産は伸び悩むと予測。今月も二次合金メーカーは自動車生産の増産でかなりのオーダーを受けているはず。

ただし割安の輸入塊の入荷を背景に購買意欲はあまりない。

LME価格については弱含み横ばい。EU会合で合意した欧州金融安定メカニズム(ESM)による国債買取についてフィンランドなど反対国が出ているなど欧州問題の先行きがまだまだ不透明なこと。

それによるファンダメンタルズ悪化からのメーカーの先行き不安も重なる。スクラップ価格については六月後半価格から据え置きマイナス五円の予測。

## 住宅エコポイント終了

被災地は十月まで継続―国交省

国土交通省は四日午前、省エネ基準を満たす住宅の新築や改修でエコ商品などと交換できるポイントがもらえる「復興支援・住宅エコポイント」について、東日本大震災の被災地以外からの申請受け付けを終了したと発表した。  
当初は十月末まで受け付ける予定だったが、予想を上回るペースで申請が続いたため、約四カ月前倒しで締め切る。被災地からの申し込みは予定通り十月まで受け付ける。

LME非鉄在庫 (7月4日発表分)

品名	在庫	出庫	7月3日現在		増減
			現	在	
銅	175	1,825	253,525	0	-1,650
アルミニウム	GAW	0	0	0	±0
	GAC	175	1,825	253,525	-1,650
鉛	900	850	349,250	10	+50
亜鉛	0	10	12,580	0	-10
スズ	0	1,450	991,600	0	-1,450
鉛	4,275	11,125	4,805,775	0	-6,850
二次合金	0	1,040	99,020	0	-1,040
ケル	0	186	103,674	0	-186
アルミ二次(NASAA)	0	420	153,940	0	-420

(単位:トン)

◇東工取(五日前引)  
金 一六八円  
銀 七一・九〇  
白金 三、八三一  
パラジウム 出 来 ず